

事務事業名 小学校プール市民開放事業

出力日：令和02年03月19日

キーコード：718

施策：	22	スポーツ・レクリエーションの推進	財務コード	01090702-03-00
基本事業：	01	スポーツ施設の充実	担当部	教育部
基本事業の 成果指標	スポーツ施設満足度		担当課	文化・スポーツ振興課
			担当係	スポーツ振興担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成17年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民			<p>【概要】市民の体力向上と水泳の振興を図るため、「筑紫野市立小学校プール開放の実施に関する規程」に基づき、夏季休業日における筑紫野市立小学校のプールを開放する。</p> <p>【開放施設】市内小学校11校のプール施設</p> <p>【開放日】夏季休業日のうち7月21日から8月12日まで（月曜日、学校行事がある場合は休場）</p> <p>【開放時間】午前10時から午後4時まで</p> <p>【利用料金】無料</p> <p>【運用体制】遊泳者の安全と施設の円滑な運営を図るためプール監視事業者に委託。プール監視員は、日本赤十字社認定の救急法基礎講習修了等の有資格者を配置する</p>						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
市民の体力向上と健康増進、水泳の振興を図る									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	29年度 実績	30年度 実績	01年度 当初	02年度 要求	03年度 計画	04年度 計画	目標
利用者数		人	17,066	16,270	18,000	18,000			18,000
5. コスト									
事業費		計	千円	19,807	20,008	21,515	23,546		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	19,807	20,008	21,515	23,546				
正職員人工数		人工	0.4	0.4	0.4				
正職員人件費		千円	3,198	3,236	3,226				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	23,005	23,244	24,741	23,546			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている		平成30年度 16,270人（796人減少） 平成29年度 17,066人							
どちらかといえばあがっている		【原因】天候不良による中止に伴う利用日短縮（H29・・・20日、H30・・・19日）							
あがっていない（停滞・低下）		平成30年7月29日 台風							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし		【課題等】監視員の人員不足 真夏の屋外という過酷な環境で人を集めることが非常に困難な状況。				
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし		炎天下中での遊泳について 熱中症の嚴重警戒が連日発令する中、水中でも熱中症にかかることがあるため、開催期間の短縮など事業内容を検討する必要がある。				
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改善方向性					維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
近年の利用者数の推移を分析し、開放期間等の見直し等を行う									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
代替市民プールとして平成17年度より事業開始									